

250212 NIE 公開授業 児童の感想

○これまで準備してきた壁新聞で、私たちの発表を多くの方々に分かりやすく説明したり、「防災」についてより知ってもらえたということが一番うれしかったです。そして、関わりのなかった網干高校の皆さんともこの授業を通して関わりを持たれたことが話し合いのテーマ「網干の『共助』についてわたしたちにできることはどんなことだろう」にもつながって災害が起こった時などに共に助け合える関係にもなっていけばと思います。高校生の皆さんの発表の中でも南海トラフ巨大地震の話がでてきたところ「がやっぱり近年起きると言われているので、網干でも防災意識を高めていかないといけないな」と思いました。また、このような行事を網干でやってほしいです。

○あまり緊張せずに予定した通りに進んでいったので今まで2学期から壁新聞をつくって、練習したものを網干高校生やたくさんの先生、地域の人に見てもらえてよかったし、高校生の人体の発表の中にあった畳で川を氾濫させないようにしていることやポンプ場があることなどを知れたりしたのでよかったなと思いました。

○私が考えたことは、共助のことです。話し合いで私たちにできることはコミュニケーションだと思いました。私は緊張してなかなか発表できませんでした。でも、みんなの発表を聞いてあいさつや助け合いの意見が出ていました。でも、私はあいさつや助け合いだけじゃないと思いました。理由はあいさつももちろん大事だと思うけど、いつでもどこでも優しい心を持つことも大切だと思ったからです。話し合いの時そのことを言えなかったので次は自分の意見をはっきり言おうと思いました。私が考えた共助は「いつでもどこでもだれとでも」です。(金井)
○共助について考えれば、自助、公助のことも考えることが出たので良かったです。自分たちがつくった新聞をよく見てくれたのもうれしかったけど何よりも自分が発表しているのを聞いてうなずいたり、小声で「すごいな」と言ってくれたのが一番うれしくて作って良かったなととても思いました。話し合いでは高校生の人たちが自発の考えのことを言っていることに真剣に聴いてくれたのもうれしかったです。高校生のスライドでの発表はとても分かりやすくすくなくない時間でとても大切なことが入っていたり、クイズもあってとても聞きやすかったです。今度真似しようと思いました。

○網干の「共助」のためには、祭りに参加、行事に参加することができると思います。楽しく地域の人と助け合ったり、触れ合えるので、もし、避難所にいたら「あ、祭りであった人だ！」と少し安心できるかもしれないからです。私たちの発表の中で「共助」より「自助」の方が中心だったので、高校生の発表では「共助も大切だ」と気づくことができました。これは網干西小と網干高校生が交流し

たから気付けることができました。また、どこかで防災について話したいし、網干区の人にも知ってもらいたいと思いました。

○ぼくは、共助をするには近所の人達と仲良くすることが大切だと考えました。理由は避難所で見つけた時や仲良くなっていたらともに助け合えると思うからです。また、近所づきあいをどんどん広げることで避難所に行ったら知っている人が多かったら安心できると思うからです。高校生の発表でクイズは楽しく、だいじなところは詳しく真剣に説明してるところがよかったと思いました。(山本)
○この学習を通して、普段から地域の人たちと積極的に関わり地域の行事にも参加して仲を深めたり、挨拶をしたり会話をしたりすることでもしもの時に備えていきたいです。「自助」や「公助」は準備などができるけど「共助」は準備することができないので普段から積極的に関わり、もしもの時は災害に関わらず、いつでもどこでもだれとでも優しい心や支え合い、助け合う心を持って協力することなどを地域の人たちに知ってもらい防災の意識を高めることが網干の「共助」だと思いました。

○初めて会った人の前でもちゃんといつも通り発表ができて良かったです。ランチルームで高校生に僕の名前を憶えてもらえて、話がいっぱいできたのでうれしかったです。「共助」についてあまり意見が出なかったときに高校生の二人が手助けをしてくれて、いっぱい案が出たのでありがたい感謝でいっぱいになりました。たくさん高校生と話ができて、高校生の面白い話もいっぱい聴かせてもらい一生心に残る最高の思い出になりました。

○網干の防災やいろんな災害についてとても学びました。避難所の場所やクイズまで高校生が発表で教えてくれてとてもわかりやすかったです。ランチルームで高校生といっしょにお昼ごはんを食べながらいろんな話をして楽しかったです。体育館で防災の発表をして緊張しましたが、自信を持って発表をしました。高校生が発表を終わったら「わかりやすい」と言ってくれました。とてもうれしかったです。また、このことをいかして、自信を持って発表したいと思いました。高校生の発表も分かりやすくてたくさんのことを学びました。

○高校生の発表で「共助」が少ないことを知り、そのあとの話し合いなどで、家が近い人たち、地域の人たちにあいさつをすることやボランティアなどをすることが大切だと分かった。高校生たちと話をいっぱいしたり、遊んだりして楽しかった。高校生の発表から、網干地区に火の見やぐらや置堤が作られていたこと、学校にある防災の看板を知ってびっくりしました。クイズに正解することができてうれしかったです。ぼくも、高校生になったら今日のようにみんなを笑顔にできるような高校生になりたいです。

○防災の勉強をしてうれしかったこと、成長したなあと思うことがあります。うれしかったことは高校生と交流できたことです。成長したことは、最初は発表の練習の時、あまり今まで仲良くなかった子ともどんどん仲良くなっていったことです。